

○ 理科 小学校理科 第6学年 ⑤

「てこの規則性」「発電と電気の利用」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点			
			関意	思表	技	知理
(1)	てこの仕組みについて、支点、力点、作用点という基礎的・基本的な用語を理解しているかどうかをみる。	[第6学年] A 物質・エネルギー (3) てこの規則性 ウ 身の回りには、てこの規則性を利用した道具があること。				○
(2)	左右のうでで、はかりたい物やおもりをつるす位置を変えると、どんなときにつり合うかについて理解しているかどうかをみる。	[第6学年] A 物質・エネルギー (3) てこの規則性 イ 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつりあうときにはそれらの間に規則性があること。			○	
(3)	てこがつり合うときの規則性について言葉で説明できるかどうかをみる。			○		
(4)	実験の結果をもとに、コンデンサーに蓄えた電気の利用の仕方について、豆電球と発光ダイオードを比較して、特徴を説明できるかどうかをみる。	[第6学年] A 物質・エネルギー (4) 電気の利用 ア 電気は、作りだしたり蓄えたりすることができること。 エ 身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があること。			○	